

令和6年度事業計画

人口減少や高齢化の進行に伴い生産年齢人口が減少する中、地域経済や地域社会において高齢者の活躍が期待されています。

シルバー人材センターは、働く意欲のある高齢者のみなさんが年齢にかかわらず自身の能力や経験を活かし、生涯現役で活躍し続けられる仕組みを提供しており、時代背景と共に、その役割はますます重要になると考えます。

当シルバーにおいては、3年以上続いたコロナ禍の影響や会員の高齢化（平均年齢75歳）、新規入会者の高齢化（71歳）により、受注に対する担い手不足や作業時における安全性の確保を優先し、受注できない業務が年々増加傾向にあり受注件数や契約額に影響が現れています。

このような状況下で、短期間で運営の改善は難しいと考えますが、シルバーの重点課題であります会員拡大につきましては、茅野事務所で毎月開催している「入会説明会」を富士見事務所においても定期的に開催し、富士見町・原村方面の会員確保を進めてまいります。

また、令和5年度において取組みを始めました「市場調査(アンケート回答)」に基づく役員や事務局による企業訪問を実施し、事業の継続・新規開拓を行い、業務内容や就業条件等の調整・会員とのマッチングを進め、将来を見据えた発注先との信頼関係のより一層の構築を図ってまいります。

また、今後受注が見込める「空家管理事業」や「介護予防・日常生活支援総合事業」につきましては、組織市町村担当部署や関係機関との連携・調整を図り、引き続き受け入れ態勢の構築を進めてまいります。

令和5年10月から導入されたインボイス制度により、会員の配分金に対する消費税をシルバーが負担することとなる仕組みについて、フリーランス法を適用し、配分金に対する消費税を発注者へ負担をお願いすることになります。そのためには、三者間（発注者・会員・シルバー）による新契約に切り替えていく必要があり、発注者への依頼・理解を求めていくことと共に、会員の理解と運用上必要となるスマートフォンを活用した業務に向け会員を対象とした講習会を開催するなど、シルバー事業のデジタル化を進めてまいります。

シルバー事業の遂行にとって、基本である安全で安心な事業を展開することは不可欠あります。

本年度においても「事故ゼロ」を目指して取組みを進めてまいります。

以下、各委員会の事業計画を記述いたしますが、理事会・専門委員会・会員・事務局・関係機関との連携を更に強化し事業達成に向け取り組んでまいります。

1. 総務委員会

会員の高齢化を考慮し「健康と安全」をキーワードに以下の事業を推進して参ります。

各事業の推進に当たっては、理事会、各委員会、地域班、職群班との連携を密にして取組んで参ります。

- (1) 組織市町村長との懇談会を開催し、地域との連携、信頼関係の向上に努め、事業への理解と補助金の確保と共に就業拡大に取り組みます。
 - ① 組織市町村長との懇談会と担当窓口との情報交換。
 - ② 就業拡大への取組み。
- (2) 地域班長を中心とした地域に根差した会員活動の活性化を目指します。
 - ① 地域班長会を通じ、班長の役割を具現化して参ります。
 - ② 合同地域班会議を通じセンターの運営状況の理解と課題の共有に努めます。
- (3) 就業先のCS(顧客満足)に努めます。
 - ① 役員(理事・監事)と事務局が連携し、就業先を計画的に訪問するなど就業状況の把握や会員との意見交換を通じ、顧客満足・会員の意識向上に努めます。
- (4) ポイント制度を導入します。
 - ① 行事出席や会員紹介等の事業への参加をポイント化し、累積ポイントに応じ記念品を贈呈します。
- (5) 生涯現役に向け「会員の健康づくりと安全」に係る講習会を開催します。
 - ① 他委員会と連携し『生活・安全講和』、健康づくりを主眼にした研修会を開催します。
- (6) デジタル化の対応を促進します。
 - ① スピーディーな情報共有と効率化を目指し、SMS・ホームページの活用と会員専用サイトの普及を促進します。
- (7) 会員主体の行事企画の募集と実施を促進します。
 - ① 原点『自主・自立、共働・共助』に立ち返り、会員による行事の企画を募集し、実施を促進します。(会員交流、会員拡大、地域貢献、PR等)

【総務委員会：予算概要】

単位：円

内 容	金 額
(1) 定期総会費用(議案書印刷費・会場費・記念品等)	800,000
(2) 地域班長会議、合同地域班会議(会場費・通知配布費用等)	500,000
(3) ポイント制度による記念品	50,000
(4) 講習会費用(生活・安全講和、健康イベント、会場費・講師謝礼)	250,000
(5) 会員企画による行事实施費用	100,000
計	1,700,000

2. 就業委員会

新規就業会員拡大と新規就業機会創出により、活気あふれる人材センターづくりを進めて参ります。

(1) 新規会員獲得への取組み

令和6年度 会員目標 610人

- ① 地域に密着した入会説明会の開催（説明会2会場開催：茅野/富士見）
- ② 女性会員拡大に向けた交流会の開催
- ③ シルバー紹介と入会説明会開催日程のPR活動推進（広報、新聞、等）
- ④ 会員対象の「入会者紹介キャンペーン」開催（年間2回）

(2) 会員資質向上への取組み

- ① 職群班技能講習会の開催
 - ・「庭木剪定技能講習会」
 - ・「草刈り技能講習会」
 - ・「しめ縄飾り講習会」 12月 （2回 茅野地区、富士見地区）
- ② 安全就業講習会の開催
- ③ モラル・マナー講習会の開催

(3) 適正就業への取組み

- ① 高齢者に適した新規就業先開拓活動推進（公共・民間・家庭等）
- ② 既存事業における就業実態把握と就業適正化推進
- ③ 高齢化に対応した規程・基準見直しと標準類整備の継続推進
- ④ 未就業会員の定期フォローアップと就業先紹介

【就業委員会：予算概要】

単位：円

内 容	金 額
(1) 会員増強への取組み	230,000
① 会員募集に関する新聞紙掲載費用（9月・3月）	120,000
② 「入会者紹介キャンペーン」報奨費（ギフトカード30名分）	90,000
③ 女性会員拡大に向けた交流会	20,000
(2) 会員資質向上への取組み	120,000
① 職群班技能講習会（会場・講師・テキスト）費用	90,000
② モラル・マナー講習会（会場、講師・テキスト）費用	30,000
計	350,000

3. 安全委員会

令和6年度も『事故ゼロ』を目指します。

当 面 目 標 : 事 故 5 件 以 下

- ① 安全委員会を適時に開催し、会員の安全意識高揚と事故防止策等を検討し周知するとともに「安全確認シート」などを活用して事故削減につなげます。
- ② 7月から10月を「安全就業強化月間」と定め、就業現場のパトロールと会員から安全標語の募集を行い、安全対策等の周知徹底を図ります。
- ③ 事故が発生した場合、事故の検証と原因の究明を行い、更に事故防止策を検討し、会報等を通じて会員に知らせます。
- ④ 草刈り中の飛び石事故対策として、石飛軽減草刈り刃の斡旋・飛散防止ネット及び石が飛ばない安全回転バリカンの使用推進と、会員を対象とした草刈り講習会を開催します。
- ⑤ 運転業務会員で対象となる会員に、適性診断を行います。
また、すべての会員を対象として「運転時認知障害早期発見チェックリスト30」を配布し、セルフチェックを実施します。
- ⑥ 他の専門委員会との共催により、「健康・安全・就業」に関する講演会や、就業別の研修会について検討し開催します。

【安全委員会：予算概要】

○ 歳 入

○ 歳 出

単位：円

内 容	金 額	内 容	金 額
会員斡旋用草刈り刃収入	82,500	安全・適正推進大会費用	12,000
		販売用草刈り刃購入費	82,500
		草刈り会員対象講習会費用	210,000
		運転就業会員適正診断費用	194,314
計	82,500	計	498,814

※長野県シルバー人材センター連合会 安全・適正就業対策推進委員会

令和6年度「安全・適正就業対策推進の重点目標」

目標 “危険ゼロ”

1. 安全ミーティングの完全実施
2. 安全装備使用の徹底
3. 健康診断受診及び健康体操の奨励
4. 交通事故防止
5. 安全・適正委員会、推進員による安全対策の点検と徹底による事故防止
体制の確立

4. 広報委員会

シルバーの事業内容や活動を会報「八ヶ岳の風」により関係機関へ発信する事や会員の皆さんへ適切な情報の発信や会員の活動をかわら版「八ヶ岳山麓だより」により紹介します。

- (1) 会報「八ヶ岳の風」第74号の発行をします。
紙面構成は以下のような記事を掲載します。
 - ① 新年度の理事長挨拶、事務局からの依頼事項やお知らせ等の掲載をします。
 - ② 各委員会と連携を取り、活動状況や就業上の注意事項などの掲載をします。
 - ③ 就業現場の紹介、話題や独自事業班の活動を紹介します。
 - ④ 地域公共施設や福祉施設へ会報の配布を行い、施設利用者や訪問者にシルバー人材センターの活動を紹介することにより、就業の拡大につながるようにします。

- (2) かわら版「八ヶ岳山麓だより」を適時に発行して、シルバー人材センターからのお知らせや講習会・研修会・健康イベント情報や会員互助会活動等のお知らせをします。
 - ① 紙面構成として、会員の皆さんの話題や趣味、特技など身近な情報を幅広く提供いただき、会員同士が交流ができるような誌面とします。
 - ② 広報活動はもとより、広聴活動も重要なウエイトを占めています。会員の就業活動内容の紹介や、就業先の声をいただき、会員の皆さんへ発信します。

- (3) 新入会員の拡大（特に女性会員の拡大）と就業先の拡大に向けた街頭啓発活動を各委員会と連携して実施します。

【広報委員会：予算概要】

単位：円

内 容	金 額
(1) 会報「八ヶ岳の風」発刊（年間1回：1,000部）	130,000
(2) かわら版「八ヶ岳山麓だより」発行（年間2～3回：各700部）	100,000
(3) 街頭啓発活動配布物（年1回 茅野・原・富士見で実施）	50,000
計	280,000